

令和2年度 第1回香南市産業振興計画策定委員会【議事録】

- 日時 : 令和2年10月2日(金)10:00 ~ 11:30
- 場所 : のいちふれあいセンター2F
- 出席者 : 35人(策定委員13人・市職員17人[市長含む]・傍聴5人)

1. 開催目的

- ・ 令和2年度の取り組み状況と新型コロナウイルス感染症の影響に伴う取組について説明し、各分野別部会長をはじめ、有識者や産業関係団体の代表者に出席いただき、分野を超えた横断的な議論を交わす。

2. 議題

- ① 令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について
- ③ 令和3年度に向けて

3. 内容

- ・ 次第に沿って進行
- ・ 令和2年7月15日から8月5日に開催された各分野別部会の協議内容と令和2年度香南市産業振興計画の取り組み状況及び新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について関係課課長より報告。
- ・ 上記のことについての意見交換および策定に向けた動きの確認。

◆ 開会

(事務局)

それでは、お時間になりましたので、ただ今から、令和2年度 第1回香南市産業振興計画策定委員会を開催致します。

本日は何かとご多用のところ、本会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

まず初めに、委員の代理で出席されている方をご紹介します。

委員名簿 No.2 林業部会 副部会長の西岡様、NO.8 高知県農業協同組合の葛根様です。

なお、委員名簿 NO.2 竹内委員、NO.9 水田委員、NO.10 片岡委員、NO.12 岡林委員は、本日も欠席のご連絡をいただいています。

本日の会は、香南市産業振興計画策定委員会設置条例第6条の規定に基づき、委員17名のうち13名の方にご出席いただいていますので、成立していますことをご報告致します。

それでは、開会にあたりまして、清藤市長よりご挨拶申し上げます

◆ 市長挨拶

皆様おはようございます。平日のお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

コロナウイルス感染症対策の影響等もあり、今年度の第1回目が本日となりました。

本日は、今年度の取り組みとコロナウイルス感染症の市の対策を後ほど事務局より説明もさせていただきます。

コロナウイルス感染症の取り組みとして、当市商工観光課も汗をかき、商工会や観光協会等もと連携を図り、市の独自施策もあるが、なんとか市内の飲食業をはじめ、応援施策を行っているところでです。

第1回、2回の地方創生臨時交付金が財源となっているが、今後第3回目が考えられるところであり、各担当課長には、そういうことも踏まえ、足りていないところを日ごろから考えておくようにと指示を行っている所です。

その部分も考慮していただき、本日はご発言もいただきたいと思います。

本日はよろしく願いいたします。

◆ 進行

(事務局)

ありがとうございました。

それでは、議事に入る前に、資料のご確認をさせていただきます。

まず、委員の皆様には事前に資料をお配りしておりましたが、お手元にごございますでしょうか。

改めて、資料の方ですが、次第、名簿、資料1.2.3、参考資料1.2.3になります。

また、本日、カラー刷りのチラシもお配りしておりますのでご確認ください。

次に資料の説明をさせていただきます。

本日の会は、次第の裏にもスケジュールがありますが、まず、令和2年度の取り組み状況を資料1と資料2をご覧いただきながら、各分野の担当課よりご報告をさせていただきます。

次に、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う各施策について、資料3をご覧いただきながら、担当課長よりご報告をいただき、その後、各議事のご質問や来年度に向けたご意見等をいただきたいと思っております。

尚、各参考資料は、第1期の振り返りや昨年度の実績等の報告になりますが、本日はお時間の都合もあることから、説明は致しませんが、ご質問等がございましたら、意見交換の中でお願ひ致します。

それでは、説明が長くなり申し訳ございませんが、次第の3. 議事に移らせていただきます。

ここからの進行につきましては、香南市産業振興計画策定委員会 赤池委員長にお渡しをさせていただきます。

それでは、よろしくお願ひ致します。

◆ 議事

(赤池委員長)

皆様おはようございます。

さて、本日 10 月 2 日は、大学の 2 学期の始まりになります。大学では 4 月の入学式もなく、授業もほぼオンラインで実施し、学生はキャンパスにも入れない状況であったが、少しずつ緩和され、2 学期からは対面の授業も行われ始め、キャンパスに賑わいが戻りつつあります。

さて、今回は、コロナウイルス感染症の影響も含め、産業界の影響と産業振興計画の関係について活発なご議論をいただきたいと思います。

このことに先立ち、7 月から 8 月に部会を開催していただき、ご議論いただきありがとうございます。

本日は第 2 期計画が策定され、この 4 月から 6 月末までの取り組み状況についてご報告をいただきます。2 つ目は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策について関係課より説明申し上げます。このご報告・ご説明をいただき、一括して意見交換を行いたいと思いますので、よろしくお願い致します。

3 つ目は、議事 1、2 のご説明をいただき、来年度に向けたご意見を皆様よりいただきたいと思致します。

尚、会議の時間は 1 時間半を予定していますのでご協力をよろしくお願い致します。

それでは、ここからは、「令和 2 年度の取り組み状況」について、事務局よりご説明をお願い致します。

(農林水産課長)

お世話になります。農林水産課長の小松でございます。

それでは、農林水産業についてご説明をさせていただきます。

資料 1 の 1 ページをご覧ください。

一番上でございます農業分野の数値目標は新規就農者を 10 人としています。6 月末の新規就農者数はまだ掲載をしておりません。

この数値目標の達成に向け、各事業を進めていますが、まず、2 ページの 4 番「農業次世代人材投資事業(開始型)」でございますが、この目標値は 4 名としておりますが、今年度の実績は、6 月末までに 6 名ということで、既に目標値を達成している状況です。

次に 3 ページの 4 番「人・農地プランの実質化」についてでございますが、目標地区 20 地区としております。6 月末は 0 でしたが、今後は 20 地区すべてに入っていく、それぞれの現状に合わせた農地の活用についての話し合いを行っていきます。

次に林業分野でございますが、6 ページをご覧ください。

数値目標は間伐面積 25ha ということですが、現状は 0 となっています。

森林環境の保全についての取り組みでございますが、森林環境譲与税を活用して境界の明確化

を図る予定としています。

本年6月に森林法が改正されましたので、林地台帳の情報整備ということで、当市の税務収納課の情報を活用できるようになりましたので、税務収納課に情報をいただきながら、森林の納税管理人を調査して明確化へとつなげていきたいと考えています。

7ページには木工育事業ということで、こちらは資料2の報告書8ページにもございますが、林業部会の委員の方からは、ご自身が持たれている夜須町羽尾の山で間伐体験を行っていただいてもかまわないとのご意見もいただきましたので、連携を図り木工育事業を進めて行きたいと考えてございます。

次に水産業でございます。資料1の8ページをご覧ください。

数値目標ですが、第1期計画では、漁獲量ということでトン数を目標としておりましたが、今年度からの第2期では金額を数値目標としています。

記載のとおり、6月末の実績は31百万となっておりますが、8月末現在では、95百万となっております。

各事業についてですが、8ページの1番 水産機能の整備ということで、6月末現在は3件に対し1件となっておりますが、現在は3件の施行中となっております。

次に10ページの学校給食の納入ということで、かちりじゃこの部分ですが、目標値16回に対し、6月末で7回でありましたが、8月末で11回、シイラについては8月末では10回となっております。

最後に、担い手の確保については、部会の方でも新規の就業者については懸案課題になっており、漁業就業支援センターとの連携による担い手確保をめざしていますが、実績はなく今後の課題となっております。

農林水産業につきましては以上です。

(商工観光課長)

お世話になります。商工観光課長の岡林です。

私の方からは、商業・工業・観光・サイクリングの報告をさせていただきます。

少し長くなりますがご了承下さい。

まず、商業分野のご説明をさせていただきます。資料1の11ページをご覧ください。

第2期商業分野の数値目標といたしましては、商業者数と新規事務系企業数を目標値として設定し、地域商業のにぎわいを創出や既存商業者の持続的発展を図ることといたしました。

まず、1つ目の目標値である、商業者数の813事業者という数値に関しては、市商工会において今年度の数値を集計できていないため、R2年6月末現在の評価は示しておりません。

次に、2つ目の新規事務系企業数については、今年度、2企業の目標に対して、本年4月1日に東京都に本社を持つ1企業が当市に進出しています。

各施策の進捗状況についてご説明致します。「空き店舗活用に向けた取り組み」の「2.空き店舗実態調査」については、当初1名の会計年度任用職員を雇用し、市内全域の空き店舗数等を調査する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症による経済対策を優先し、今年度での事業実施を見送ることといたしました。

また、本調査を元に「3.空き店舗バンク事業」や「担い手確保に向けた取り組み」の「1.事業承継の

推進」等の取り組みを行う予定でしたが、同様に今年度での事業実施を見送ることいたしました。

次に 12 ページをご覧ください。「5.空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致」については、先ほども申し上げましたが、4月1日に、東京都に本社を置く「合同会社NGS」が道の駅やすのテナントを活用し、当市へ進出をしております。当企業は、システム開発・運用を手掛けています。高知支店では、新たに地元の方2名の雇用を行っております。

また、昨年 12 月に当市に進出した(株)UT・キャリア高知支店においては、9月 21 日、22 日の2日間に正社員募集のための会社説明会及び面接会を開催することとなっています。

市HPや香南ケーブルテレビ等での広報への協力を行う等、引き続き、進出企業の雇用支援を行ってまいります。

次に、「担い手確保に向けた取り組み」の「2-1 未来人材育成奨学金返還助成事業」については、これまで新卒者のみが対象でしたが、今年度よりで満 40 歳未満の中途採用者も対象となるよう改正を行っております。問い合わせは数件あったものの申請には至っていませんので、各学校や成人式等で、当事業の周知を図っていきたいと考えております。

次に、13 ページ「商業支援」の「1 緊急融資保証料補給金事業」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国統一のコロナ対策融資制度が創設されたため、香南市緊急融資保証料補給金の利用はなしとなっています。

次に、14 ページ「3.香南カーニバル事業」については、平成 30 年度、令和元年度に続き、第3回目の開催を予定していますが、新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けている飲食店等を強力に支援し消費喚起を行うため、プレミアム分を付与した「飲食店応援バルチケット」の販売を行います。

7,000 円分のバルチケットを 3,000 円で販売し、6,000 円分を飲食店で、1,000 円分をタクシーもしくは代行で利用できるものとなっています。

現状では約 70 店舗が参加されるということで、これから参加店舗に対する説明会も行いますが、参加店舗には、業界団体が示している新型コロナウイルス感染症ガイドライン等の対策を実施していただくとともに、厚生労働省が提供している接触確認アプリ「COCOA(ココア)」の周知等も併せて行っていただく予定です。

次に、資料2の 17 ページをご覧ください。

商業部会での各施策に対する主な意見といたしましては、現状では、何か新しい取り組みというよりも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者を守るための取り組みに力を入れていく必要があるのではないかという意見がありました。

また、「国・県・市から様々な支援制度ができていますが、その数が多すぎて内容等がすごくわかりづらくなっている」や「市給付金事業等にしても、申請できるのに申請していない方やそもそも制度を知らない方がいると思うので、制度の周知により取り組んでいく必要があるのではないかと」といったご意見をいただきました。

制度の周知に関しては、引き続き行っていく必要があるものと考えていますので、商工会や金融機関等と連携を取り、市事業者等応援給付金等の事業に関して事業者への周知を図っていきます。

今後も、頂いたご意見をもとに、市内事業者様の現状を踏まえながら今後の施策について検討し

たいと思います。

続きまして工業分野のご説明をさせていただきます。資料1の15ページをご覧ください。

第2期工業分野の数値目標といたしましては、製造品出荷額と新たに新規雇用者数を目標値として加え、拡大再生産による雇用の拡大と地域の賑わい創出を図ることといたしました。

製造品出荷額は360億円の目標値に対し、令和元年実績の工業統計調査結果は未だ公表されていないことから、R2年6月末現在の評価は示しておりません。

新たな数値目標である新規雇用者数については、4月1日現在で16人の新規雇用があり、目標数値を上回っております。

次に各施策の進捗状況についてご説明致します。

「企業誘致の促進」の「1.新規工業団地整備事業」については、新規工業団地の候補地を選定するため、適地調査に着手しております。今後は平成26年度調査時に選定された3箇所と、今回の調査で2箇所を候補地として選定し、計5箇所の中から新規工業団地の場所を決定することとしております。

また、場所決定後、県の補助金を活用して基本構想委託業務を発注する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、基本構想は令和3年度に実施予定です。

「2.川谷刈谷地区工場用地」についてですが、こちらは、香我美町の丸三産業さんの東側の用地になりますが、そちらを市が昨年度購入いたしまして、その土地を分譲の公募を昨日から開始しています。

「3.企業誘致支援制度の見直し」についても、立地企業の設備投資に伴う負担を軽減するための制度の充実を図っていきたくと考えております。

次に16ページの「既存企業の育成・支援」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内事業者への緊急経済対策を優先したことから、取り組み予定であった各種事業を見送っています。

工業分野の各種施策に関連したコロナ経済対策としては、「2.中小企業者の生産性向上支援事業」があります。

内容は国の支援策として固定資産税の特例措置の適用期限の2年間延長、加えて市の支援策として、該当の設備投資にかかる費用の1/10を補助する補助金を設けました。

6月末では、申請はありませんが、現在1件の申請があり、今後も数件が予定されています。

次に、資料2の21ページをご覧ください。工業部会での各施策に対する主な意見といたしましては、ものづくり教育推進事業についてご意見があり、工場見学は新型コロナの影響もあるが、心配過剰になることなく長期的に取り組むことがあげられました。

受入企業と小中高等の生徒が安心して実施できる方法や実施時期等の検討を進めていきたいと思っております。

新型コロナに関するご意見といたしましては、2点ご意見がありました。

1点目はオンライン商談に関するもので、新型コロナウイルス感染症によって商談会の開催、参加が難しくなっており、オンライン商談会が今後主流になってくると思われる。オンライン商談の際には各企業のウェブサイトが重要になるため、香南市ものづくりネットワークのウェブサイトを活用した情報

発信やオンライン商談会等に対応する取組を行ってはどうか、というものです。

2点目は、工場の換気設備に関するもので、工場は防音対策のため密閉されており、産業用換気扇の取り付け費用も高額となることから、その費用を補助できないかというものでした。

換気扇は単純構造のため市単補助金の対象設備にはならず、感染防止対策の補助金として、高知県中小企業新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金がありましたが受付終了となっております。

今後も、頂いたご意見をもとに、市内事業者様の現状を踏まえながら今後の施策について検討したいと思います。

続きまして、観光分野のご説明をさせていただきます。資料1の17ページをご覧ください。

第2期の数値目標といたしましては、観光施設入込客数を目標値として設定し、観光客の増加とそれに伴う消費の拡大を図ることといたしました。

今年度の数値目標の達成状況につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による移動自粛やイベントの中止により観光施設入込客数107万人の目標値に対し、R2年6月末現在の実績値は、42.9万人と達成率は約40%となっております。

各施策の進捗状況についてご説明致します。「香南市観光の発信」の「1.香南市のPR活動の強化」については、日曜市と高知新港への出店をそれぞれ4月と6月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっております。今後は新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら事業を実施していきます。

次に18ページの「観光の育成に向けた取り組み」の「1-1 ヤ・シィパークを核とした地域の活性化推進プロジェクト」については、道の駅の入込客数が68,733人となっております。

今後も手結盆踊り・マリンフェスティバル等の入込客数が見込めるイベントが中止となっておりますが、WITHコロナにおける安心・安全な野外イベントの開催について検討を進めていきます。

なお、来週、ヤ・シィパークを会場にした高知トヨタさんのイベントも行われると伺っております。

次に19ページの「観光の育成に向けた取り組み」の「2. 三宝山エリア活性化プロジェクト」についてですが、現在、井上ワイナリー株式会社が風車跡地に、本年5月より醸造所の建設を開始しております。

予定では令和3年2月の竣工でありまして、それ以降は来年の8月頃に収穫されたブドウでワインの醸造を行い、令和4年5月頃にグランドオープンをされると伺っています。

次に20ページの「観光の育成に向けた取り組み」の「1. サイクルイベントの開催」については、5月開催予定のツール・ド・トレインや10月開催の三宝山ヒルクライムが中止となりました。

しかし、ポタリングは7月から再開しており、シクロクロスカップは開催を物部川の河川敷で開催できないか検討中です。

今後は、大規模ではなく、小規模のポタリングや健康サイクリング等から開催につなげていきます。

次に22ページをご覧ください。

「受入体制の強化」の「2.外国人観光客受入研修の実施」については、今年度の受入研修は行わず、来年度以降の開催を検討します。

「30 アンケート調査の実施」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、物部川 DMO 協議会が行っている「ものべがわエリア観光客実態調査」の中で実施をしていきます。

次に資料2の 24 ページをご覧ください。

後ほどご説明をさせていただきますが、観光部会での新型コロナウイルス感染症の影響に伴う市の施策に対する主な意見といたしましては、「お客様にどのようにプロモーションして、どう発信するのか。」とのご意見をいただき、「遊ぼう割、泊まってもらおうは、お互いの参加事業所が連携し、お互いの事業の宣伝を行うことで、宣伝効果を高めて事業を実施していきます。

最後にサイクリングについて説明致します。資料1の 23 ページをご覧ください。

令和2年度の数値目標としましては、サイクルイベント大会参加数とサイクルサポーター数の増加を目標としています。

1つ目の目標値のイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、6月末時点で1イベントも開催できておらず0人となっています。

ただし、サイクルサポーターは6団体が該当団体となっています。来るべきイベント開催に向け、今後も協力団体を増やしていきます。

各施策の進捗状況についてご説明致します。

「観光(サイクリスト誘致)」の「1. レンタサイクル推進事業」については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う『密にならないアクティビティ』としてサイクリング需要が高まっていましたが、観光として楽しむ時期ではないことから、昨年度の利用率と比較すると約 60%となっており、本格的な活用に至っていません。

次に 25 ページをご覧ください。「健康(市民向けの取り組み)」の「2. タンデム自転車の利用促進」は、タンデム自転車を活用できる施設や事業と連携し、活用機会を拡大することにつなげていきたいが、予定されていたオーテピアやとさてらす等のイベントが新型コロナウイルス感染症で中止となっています。

また、26 ページに記載の香南市で策定予定の「香南市自転車活用推進計画」については、9月に入札を行いまして、これから半年かけて大急ぎで市の自転車の基礎となるべくこの計画を今年度に仕上げたいと考えています。

この計画ですが、現在、親会である策定委員会の構築と、観光・健康・環境・教育の 4 部会をつくり計画を作っていくこととなっています。

次に 27 ページをご覧ください。「環境整備(ハード整備)」の「2-3. 環境整備(国や県と連携したハード整備)」では、ヤ・シイパーク西自歩道・連結道の整備完了に伴い、ヤ・シイパークから岸間間が本年5月に開通しました。

また、物部川右岸河川敷自歩道整備は、9月にすべての道が繋がり、自転車やウォーキング、散歩等に利用いただけるとのことです。

資料2の 26 ページをご覧ください。サイクリング専門委員会の各施策についての主な意見としましては、イベントで中止になっていることを悲観するより、イベント自体を新型コロナウイルス感染症対策用に小規模化していく等、コロナを逆手にとったチャンスと捉える取り組みをいろいろ行っていきたい、という意見がありました。

令和3年度にむけても、100人規模の大きなイベントの開催ではなく、市民向けの小規模な自転車に親しみを持ってもらえるイベントを開催していくことや、市民のヘルメット着用率の向上等、身近なことから組んでいくのはどうかとの意見をいただいています。

以上の様な取り組みより、新型コロナウイルス感染症に負けないサイクリングの普及促進をより一層進めていきたいと考えています。

長くなりましたが、商工観光課からの説明は以上になります。

(建設課長)

建設課の野島でございます。

私からは住宅分野についてご報告致します。

資料1の28ページをご覧ください。

住環境の整備といたしましては、住宅リフォーム推進事業費補助金ですが、住宅リフォームに際して、事業費の20%、上限20万で市民において使いやすく、人気の高い事業となっています。

今年度の実績ですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、6月末までは当初の申込数は少なかったですが、少しずつ戻り始め、9月末までの申し込みは104件、補助金の残りは137万円となっています。

次に市営住宅の生活環境の保全及び公衆衛生の向上事業ですが、こちらは、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として手すりを新設する事業ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、工事材料等が海外から輸入されない等から工事が着工できない状況でありましたが、現状では、回復してきており、10月には昨年工事に至らなかった戸数を含めた22戸の入札を予定しています。

3. 宅地造成整備事業は、野市町以外の地区における造成候補地について、事業規模の想定するための概略検討を行う必要があることから、概略検討資料の作成の着手を行うこととしています。

次に29ページをお願いします。住環境の整備耐震化事業として、住宅の耐震診断、耐震設計、耐震工事、ブロック塀の耐震化は一定進んでおり、近年の申請数は減少傾向となっていますが、各地で震災があった後には問い合わせが多くなる傾向にありますので、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある状況です。

次に30ページの空き家対策事業ですが、昨年度までの取り組みに加え、まちづくり協議会等、地域との連携等により、既に今年度の目標値の達成が見込まれています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により毎年開催されている移住フェア等が中止になる等の影響もありましたが、市の移住相談窓口では、zoomを活用し、移住者の対応を行っています。

今後につきましては、新型コロナウイルスの影響をうけている事業もありますが、各事業の目標値に対するPDCAサイクルを今後も進めていき、各事業の中で、各戦略の柱ごとに、関係課と連携し、目標の達成へとつなげていきます。住宅分野は以上になります。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

つづきまして、新型コロナウイルス感染症の影響による施策についてご説明をお願いします。

(農林水産課長)

それではご説明致します。

資料3の2ページをご覧ください。

①香南市水産業活力支援事業ですが、これは新型コロナウイルス感染症による影響をうけている地域の水産業者(内水面養殖業者を含む)を対象に、本市の漁業の生産性の向上と漁業経営の安定化を図るため、3月から6月に使用した船舶用燃料の購入費や内水面養殖に係る施設の運転経費の一部を補助する事業で上限額は40万円、補助率は3分の1としています。

漁業者は各県漁協に申請し、内水面養殖業者は直接市に申請を行うこととしており、9月末現在で内水面関係者より1件の申請を受けています。

②香南市漁業災害対策資金利子補給金交付事業ですが、社会的、経済環境の変化等において、その被害を受けた方若しくは被害を受ける恐れのある方が金融機関から借り入れた資金に対して、市が利子補給を行うものですが、現在活用実績はございません。

③香南市緊急間伐総合支援事業の拡充ということで、従来は、除伐保育間伐と作業道の開設につきましては、一定土地の所有者さんからも自己負担をいただいていたのですが、森林環境譲与税の活用の使途が緩和されたことに伴い、自己負担分についてコロナ対策として対応を致します。

④香南市の森からの贈り物事業ですが、こちらは先だって高知新聞で香美市の同様の取り組みが紹介されていましたが、内容はほぼ同じですが、市有林の一部を伐採し、本年4月2日以降に生まれた方に木製のおもちゃを贈呈し、香南市の木に関心を持っていただくものとなっており、10月の広報にも掲載をしております。

市では毎年220から240人の新生児が生まれておりますので、次年度以降も続けていきたいと考えています。

⑤香南市事業者等応援給付金事業については、商工観光課から説明がありますが、農林水産業者も対象となっておりますことをお伝え致します。説明は以上です。

(商工観光課長)

つづきまして、⑤香南市事業者等応援給付金事業についてご説明致します。

国の方でも持続化給付金の受付を行っておりますが、市では、その対象にならない方に向けて給付金事業を行っております。8月末の実績は、52件、14,522千円となっております。

⑥香南市産業振興推進計画事業費補助金の拡充ですが、既存のものに加え、新たに、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う一時的な休業等により売上げの減少が生じた会員等で構成される補助事業者が、経営の維持、回復に努める取組等を支援する事業も令和2年度に限り、100%補助という形で実施をしております。現在は2件の交付を行っております。

⑦香南市小規模事業者持続化補助金ということで、こちらは商工会さんが窓口となっている国の「小規模事業者持続化補助金」の採択を令和2年度内に受けた市内小規模事業者を対象に、香南市独自支援として、新たに補助対象経費の一部について補助金を交付するもので、実績は2件となっております。

⑧香南市先端設備等導入支援事業費補助金ですが、これまで税金の控除しかありませんでした

が、新しく上限 50 万円の補助金をつくったということになります。

⑨香南市事業者相談窓口の設置ということで、市の吉川庁舎に当課、農林水産課、行政書士、社会保険労務士、商工会の方々と窓口を設置して、様々な交付金等の相談や手続きサポートを実施しています。

現在は約 230 件の相談を受けています。

⑩香南 BIG カーニバル事業ということで、ここからは、今後の取り組みになりますが、今月号のこじゅんとというフリーペーパー等にも掲載されていますが、非常にお得なチケットになります。11 月から行うように準備を進めています。

⑪香南市 プレミアム付き商品券事業ですが、こちらは、後ほど、商工会の仙頭委員よりご説明を簡単にいただければと思いますが、1 万円の商品券は 5,000 円で買えるもので、1 人 2 セット購入できます。

こちらも 11 月から 2 月までの事業となります。

⑫香南市で遊ぼう割♪キャンペーン事業につきましても、観光協会が窓口となりますので観光協会の森尾委員からお話をいただければ幸いです。市内観光施設等の入場料を半額とするもので、10 月 1 日よりスタートしております。

⑬香南市に泊まってもらおうクーポン券配布事業ですが、香南市内に泊まっただき、宿泊費 6,000 円ごとに 1,000 円分のクーポン券を配布して、プレミアム商品券を使えるお店で使用ができる事業になっています。国の Go to キャンペーンと合わせて利用を促していきたいと考えています。

⑭香南市宿泊事業者支援給付金事業ですが、こちらは、全国的にそうですが、宿泊業の落ち込みが大変大きいということから、少しでも支援をということで市内施設 14 カ所に給付をするもので、すでに着手しています。

⑯香南市タクシー・観光バス事業者支援給付金事業につきましても市内タクシー業者等に給付を行うもので事業を開始したところです。

⑰香南市観光テレビで全国へ PR 事業ですが、これは 11 月に香南市で芸能人が来て、コロナに負けない、こんな状況でも頑張っているよという香南市を撮影していただき、放映をするものです。

放映予定は 12 月 4 日の金曜日に RKC さんで 19 時からとなっておりますので是非ご覧ください。

次のページからは、地域活性化策の取り組みということで、市以外の取り組みを掲載していますが、⑱夜須町特産品を活用した加工品開発・観光地 PR 事業ということで、8 月に香南市の姉妹都市である沖縄県八重瀬町にある「南の駅やえせ」と連携し、沖縄フェアがヤ・シィパークで行われています。説明は以上になります。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

それでは、仙頭委員からプレミアム商品券事業の補足等をお願いします。

(仙頭委員)

お手元にチラシが配られていると思いますので、ご覧ください

10月5日より、各世帯に商品券の引換券が送られまして、チラシに掲載されている場所でプレミアム商品券を購入できます。

先ほどご説明もありましたが、5,000円で10,000円分の商品券が購入できまして、1人2セット購入ができ、200店で使えます。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

つづきまして、森尾委員より、遊ぼう割について補足説明をお願い致します。

(森尾委員)

お手元のチラシをご覧ください

本キャンペーンは昨日より開始されています。

市内施設の入館料等が半額、または上限1,000円の割引が受けられるものになっておりまして、対象先は14施設となっております。対象期間は2月末までとなっております。

チラシでは内容がすべて掲載されていない部分もありますので、詳しくはQRコードや観光協会のホームページをご確認いただけますと幸いです。

利用方法ですが、チラシ裏の下部にあります利用申込書にご記入いただき、各施設にご提出いただくことで割引を受けられるものです。

9月29日の高知新聞にもご掲載いただき、LINEニュースやFacebookにも取り上げていただきましたし、本日の朝刊にも折り込みチラシを入れさせていただきました。

このようなことから、事業開始前にYASU海の駅クラブさんではお問い合わせをいただく等の状況があったと伺っております。

また、参加施設の方々からも期待をしているとお声をいただいておりますので、広報をしっかりと行っていきたいと思っています。

取り組み現状ですが、昨日から始まりましたので、観光協会でレンタサイクルを利用された方にご紹介をさせていただき、早速ご利用をいただいております。

また、絵金蔵で紹介を受けられた方は、絵金蔵さん以外でもご利用をされたと伺っておりまして、今後も利用が期待されています。

ただし、土佐カントリークラブでは、1,000円の上限ではなく、料金が半額になると誤認をされた方もいらっしゃるかと伺っていますので、誤りのない広報を行っていきたく感じているところでございます。

今後は、キャンペーン期間も長いこともあるので、観光協会職員や理事の皆様とも協力し、これからの秋の行楽で、ミカン狩り等も含め推進したいと考えています。

また、サイクリングコースの整備等もありますので、そこに、香南市の飲食店の紹介等を絡めながら、レンタサイクルの推進等に努めていく考えです。

さらに、皆様方にもこのキャンペーンをご利用いただき、香南市の魅力等を再発見いただき、その際の写真等もご提供いただけますと幸いです。説明は以上になります。

(赤池委員長)

ありがとうございました。

ここからは、議事1. 2につきまして皆様よりご意見をいただきたいと思います。

(葛根委員)

資料1の4ページの6.農産物の販売力の推進ということで、ニラの販売について記載がございますが、7月末で10億くらいの目標値を15億となっており、農家数の減少もある中で、非常に伸びしろのある農産物である。

香南市の基幹農産物で、園芸はみかん、農産物はニラという部分はJAも香南市も同じ認識であると感じている。

取組については、園芸ハウス整備事業や環境制御事業について特段の注力をいただいております、県下でもトップクラスの需要があり、農家もご支援をいただいているところです。

これについて、やはりさらに推し進めることをJAも考えており、生産から販売までのフローの中で、特に販売面ということで行きますと、基軸になるのは、共同販売ということが大きな軸になります。

その販売力の強化に向けた拠点の整備及び機械の更新をJAも進めています。

受益者はニラ農家さんになりますので、この計画を進めていく上で、市の方にも是非ご支援をいただきたい。改めてご相談をさせていただきますのでよろしくお願い致します。

(農林水産課長)

ありがとうございました。

資料1の4ページの6.農産物の販売力の左から2つ目の中にも記載がありますが、JAさんの方でも、4月よりニラのそぐりセンターの稼働が始まっています。これは、課題となっているそぐり手の不足に対応するものでもありまして、現在のところ当初計画よりは伸び悩んでおられると伺っていますが、今後フル稼働に向けて取り組まれるということも伺っておりますし、また研修ハウスも昨年度までで6棟が完成し、稼働を始めていますが、その中でニラの栽培を行っている方もいますので、そこも含めてニラの販売には力を入れていきたいと考えています。

(松村委員)

園芸ハウスの話がありましたが、新規や規模拡大については整備事業があり、災害等があった場合のレンタルハウスの修繕等も手厚いが、災害に強くするための補強についての補助事業はないでしょうか。

(農林水産課 課長補佐)

担当の小松です。お世話になります。

台風等の災害に対して補強する支援策としては、強靱化タイプという県の補助金があるので、ぜひそちらをご活用いただきたい。

(丸岡委員)

ニラの話があったが、観光協会では、ニラの普及促進ということで、ニラ塩焼きそばの取り組みを進めているが、香南市産のニラを香南市内で購入できない状況がある。

市内スーパー等では県内産のものはあるが、香南市産のものは見かけない。

製品が良いので県外等での販売が強いと思うが、市内で買えないのはズレているのではないか。

ニラ塩焼きそばの対応を行う場合、香南市産のニラがなく対応できない場合が現実にある。

是非市内で香南市産のニラを買えるシステムを検討いただきたい。

(葛根委員)

ありがとうございます。市内では地産地消ということで、広末屋さん等では市内産のニラでニラ塩焼きそばの提供も行っていただいている。

市内で市内産のニラを購入できないことについては、今後の検討事項として持ち帰らせていただきます。

ニラの出荷は大阪が多いのが現状ですが、いただきました意見は当然のことだと感じますので、持ち帰らせていただきます。ありがとうございます。

(赤池委員長)

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

では、私から1点。

昨年度、第1期の総括の中で、当計画の大きな課題として「担い手をどう確保していくのか」という部分があったと思います。

それを協議し、第2期がスタートしたところに、コロナウイルス感染症の影響が非常に大きく出ているとご報告をいただきました。

数値だけを見ますと、農業・工業・商業につきましては、企業誘致なども含めまして、コロナウイルス感染症の影響の中でも、担い手を確保できていると見受けられますが、一方で水産業については厳しい状況なのかなと感じています。

全体的な話ではなるが、コロナ禍において、産業の担い手になる方の状況についてどうなっているか事務局からご説明をいただけないか。

また、事業のことになるが、資料1の12ページの空き店舗等対策事業において、「問い合わせがあったものの業種が合わず申請に至っていない」とあるが、補助金の要綱について確認をしていない部分もあるが、どのようなことで申請に至らなかったのかを教えてください。

(商工観光課 主査)

空き店舗の件については、補助金交付要綱において、対象となる事業を定めておりますが、今回ご相談いただいた案件は、その業種に当てはまらなかったことが要因であります。

(農林水産課長)

農業につきましては、コロナの影響が出始めた4月、5月に、就業関係で農業に転職を考えてい

るとの相談を受けたケースがございましたが、その方が農業に就業されたケースはございませんでした。

林業については、香南市ではセンサス等を見ましても従事者数が非常に少ないことから、大きな動きはございません。事業としては、香南市の木に触れていただくことで、林業に興味を持っていただく木工育事業を進めて行き、長い目で進めて行きたいと考えています。

(山下委員)

水産業は、新規雇用については、申し込みがない状況が続いている。

各支援制度もありますが、香南市で水産業を行うことを考えますと、1本釣りの形態は県内両岬地域に比べますと創業時間や経費等も掛かることから成り立たない部分もありまして、現在は夜須町のシイラ巻き網漁、もう1つが汽船底引き網漁、通称バッチ漁といいますが、この2つが残っておりますが、シイラは1名ないし2名の雇用、バッチ網については最低3人の雇用が必要であります。

研修を受け、2年目で船を買い、3年目で雇用するというお話をを行うなかで二の足を踏む方が多い状況。

研修期間の延長などの要望を出してはいるが、新規の個人事業主として漁師になることは難しいのが現状ですので、雇用型のあり方について検討しています。

今後、県漁協が船等のハード面を整備して、沖に出させていただく漁師さんを雇用することも含め検討を始めているところです。以上です。

(仙頭委員)

商業分野ですが、コロナ禍で休業が相次ぎ、6月以降については店舗数に影響は出ていないが、飲食店は、2次会3次会が少なくなってきたことから、10時以降の営業が非常に厳しい状況となっている。

このことから、パートさん等は時短雇用等になっている。

サービス業では、理美容店等は戻りつつあるが、マッサージ店等の手で触れ合う形態の店舗は非常に厳しい状況。また、3月頃に開店された事業者で非常に厳しい状況にある店舗も見受けられます。

宿泊関係につきましては、工事関係者の宿泊は戻っていると伺っておりますが、観光客需要が8月は戻っていましたが9月以降はまた落ち込んでいると伺っております。

製造業に関しましては、コロナの影響により、仕事は決まっていたが、出張ができない状況等の影響から、納期が伸びる等の状況もうまれ、残業が無くなった影響から非正規の方にも影響が出たと伺っております。以上になります。

(赤池委員長)

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

皆様には、6月末までの実績の確認と香南市のコロナウイルス対策に対する施策について情報共有をさせていただきました。

ここからは議事③として、来年度に向けた方向性についてご議論いただきたいと思います。

1つは、コロナウイルス感染症の影響により、本日決めることではないですが、例えば、各分野の数値目標や事業の KPI について見直しが必要な部分もあるかと思われます。

このことも含め、向こう 5 年の数値目標等について各分野からご意見をいただければと思います。

(松村委員)

新規就農者数が増えていく中で、ハウスが必要になってくると思われる。

市や JA が新しいものを建て対応も行っていると思われるが、やはり、家族を養う者がそれだけを頼っているのは難しい部分もあり、ハウスを探している方も多い。

農業委員会の方には相談があり、例えば、以前は使っていたが、現在は草も伸び使っていないハウスを貸していただけないかということで持ち主に相談に行くことがあるが、なかなか知らない方にハウスを貸すことに抵抗を持つ方も居ます。

アンケート等をとっても後継者いない等の声もあり、今後空きハウスの増加が見込まれてもいる。

地元の方や部会の方々と話をして、将来どうしていくかの掘り起こしも行き、確保につなげていく必要があるのではないか感じています。

(農林水産課長)

ありがとうございます。

資料1の 3 ページでも説明いたしましたが、人・農地プランの実質化ということで、市内を 20 地区に分けて、地区の農地を今後どうしていくかについて協議を行っていきます。この中で、いただきましたハウスの需要についても協議して行きたいと考えています。

確かに、普段から近所付き合いをしている方の方が、知らない人に利用権を設定して貸すよりは安心感があると思うので、耕作放棄地のことやハウスの問題も含めて話し合っていければと思います。

なお、この協議の際には、松村委員も加わっていただきご協力をいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

(赤池委員長)

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

今回のコロナ禍においては、観光関連産業に影響が大きいと感じておりますが、その点に関して丸岡委員からご意見をいただけますでしょうか。

(丸岡委員)

観光は打撃を受けているが、目標値を下方修正するのではなく、令和 3 年度以降をどうするかについて考えるべきだと感じている。

良く思うのだが、今年はしないイベントはすべて中止になっている。

これは、例年通りの事業計画を立てていたことにより中止になったが、これまで、来年どうするかについて今年検討していないのが現状です。

やはり、来年度何が来るかわからないが、何が何でもやるんだという方向を考えるのであれば、令

和 2 年度内に今年できなかったことも考えて、今まで通りの事業をするのか、コロナが収まることも加味して、今年中止になった分を含めて、今まで以上のことを計画することも考える等の会も開く必要がある。

観光客もイベントがあれば来ると思う。イベントを開催する年度に考えるのではなく、コロナがある今年度中に来年度のことを考え、整理し、検討することが今求められている。

また、いつも思うが、PDCA の A の部分に「対策と改善」と書いてあるが、「対策」のことばっか記載があるが、次期に向けた「改善」が弱い。そこを含めて検討していかないといけない。

(赤池委員長)

ありがとうございます。今、丸岡委員より、チェックとアクションの部分についてご意見をいただきました。

当計画の今後の予定としては、12 月までに部会を開催し、2 月までには策定委員会を開催していくということですので、それぞれの部会の中で、各専門の方々から、コロナに対する対策は説明があった通りですが、このことに対する改善についてご議論をいただきたいと思います。

その他、ご意見はございますでしょうか。

お時間も迫っていますので、本日ににつきましては、まずコロナ禍における状況と対策について委員の皆様と共有を図ったことに加え、来年度に向けては、まず、今年度の対策をしっかりと改善に向けて評価していくということで、各部会の中でご議論をいただきたいと思います。

それでは、進行を事務局へお返しいたします。

(事務局)

赤池委員長をはじめ、委員の皆様には長時間にわたり熱心なご議論ありがとうございました。

本日頂きましたご意見は、各部会の迅速におろすとともに、関係致します他の計画とも共有し、今後に生かしていきたいと考えています。

それでは、最後に「スケジュールのご説明」をさせていただきます。

参考資料 3 をご覧ください。今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、昨年度まで開催をしておりました合同部会や講演会につきましては、現在予定をしていません。

こちらにつきましては、また動きがありましたら、ご連絡をさせていただきますのでご了承ください。

また、次回の策定委員会でございますが、現在、令和 3 年 1 月 29 日を予定しています。

このような状況でございますので、変更の可能性もございますが、今後ともご協力の程よろしく願います。

それでは、閉会にあたりまして、田内副市長、よろしく願います。

(田内副市長)

長時間にわたりありがとうございました。

本日は 1 時間半ということで、少し事務局からのご説明が長い部分もあり、十分な意見もお聞き足りない部分もありましたが、その中でもいくつか、今後についてと言いますか、明日からでも担当課や

部会、委員の皆様や関係団体と協議を始めていただきたいお話がありました。

農業分野で共同販売と市内販売についてありましたが、これはブランド化の話であり、ニラ以外についてもこれまでも協議をされてきたことであると思いますが、なお一度、担当課とJAで早急にご検討をお願いしたいと思います。

また、空きハウスといいますが、こちらも個人の財産ということで、公共もなかなかという部分がありましたが、空き家事業では、公共がすべてというわけではなく、一緒になって少し公共もお手伝いをするような形で空き家バンク事業等も進んでいるところですし、公共が入ることで、空き家の持ち主さんも市が関わっていることが安心感に繋がっている部分もあると思いますので、説明もありましたが、人・農地プランの中で十二分に検討していただきたいと思っています。

漁業の方では、漁協が事業主体になり雇用を検討していくというお話もありました。

短い時間でしたが、いろいろな意見をいただき、過ぎに協議をはじめ、次の部会、委員会までではなく、担当課は諸団体、関係機関と協議を明日から始めていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

(事務局)

以上を持ちまして本日の会を終えたいと思います。今後もよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

以上